

平成29年度

第1回 高崎市群馬地域振興協議会 次第

日 時:平成29年 6月23日(金)

午前10時30分～

場 所:群馬支所 3階 311会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 群馬地域に関わる事業報告について

資料1

(2) 群馬地域のまちづくりに関する意見について

資料2

4 連絡事項

5 閉 会

<配布資料>

資料1 群馬地域に関わる事業報告一覧

資料2 群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 平成29年度 高崎市当初予算の概要について

群馬地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1～2	北谷遺跡保存整備事業	文化財保護課
3～5	群馬中央第二土地区画整理事業	区画整理課
6～8	菅谷高畑土地区画整理事業	区画整理課
9	群馬地域のお祭りについて	報告 地域振興課 (産業課) かみつけの里博物館 (地域振興課)
10	ぐんま青空マルシェ事業	(産業課)
11	群馬分署移転事業	消防局総務課

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	北谷遺跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成12年度～全期	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

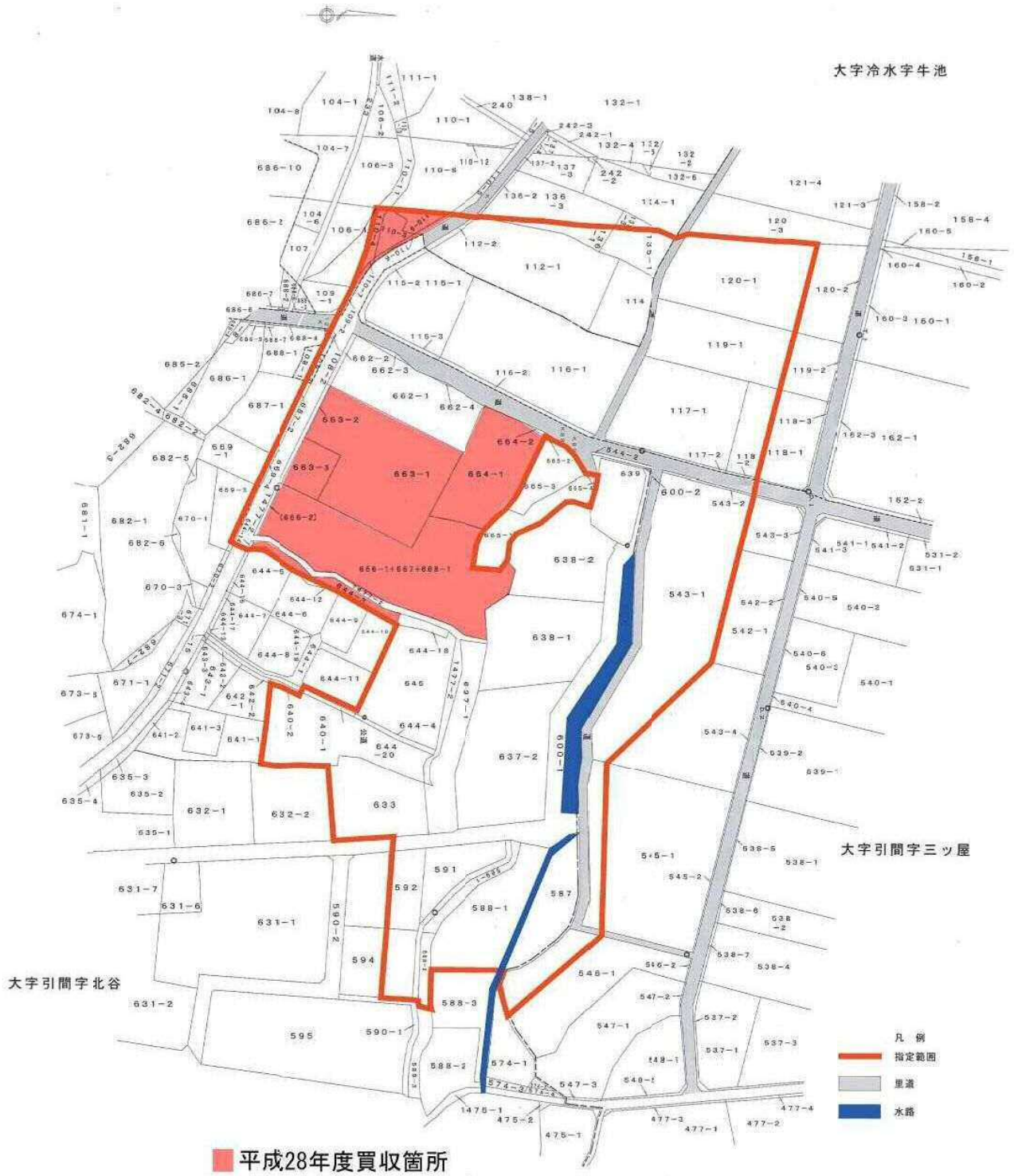
対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	国指定史跡北谷遺跡(平成17年7月14日指定)を適切に保存・管理するとともに、市民共通の歴史遺産として活用を図る。	市民共有の歴史遺産である北谷遺跡を後世に伝えて行くために、史跡地の公有地化を進める。	指定面積 3.6ha 平成12～15年度 範囲確認調査 平成16年度 調査報告書刊行 平成18年度 説明板設置 平成23年度 保存管理計画策定 平成28年度～ 公有地化

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績
合計	90,321	86,628	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者説明会の開催(4月7日) ・説明板設置場所の除草管理 ・史跡地の公有地化(1年目)
国	71,176	68,244	
県	5,338	5,118	
地方債	0	0	
その他	0	0	
一般	13,807	13,266	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定
合計	95,105	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡地の公有地化(2年目) ・史跡地(買収済箇所)の除草管理
国	75,453	
県	5,659	
地方債	0	
その他	0	
一般	13,993	



平成28年度北谷遺跡用地買収箇所位置図

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	群馬中央第二土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～平成45年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	合理的な土地利用と公共公益施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】 72.02ha 【総事業費】 13,420百万円 【事業概要】 都市計画道路5,043m、区画道路14,525m、特殊道路511m、水路271m、公園19,560㎡、上水道13,825m、調整池1箇所、物件移転268戸 H28末進捗率 37.3%

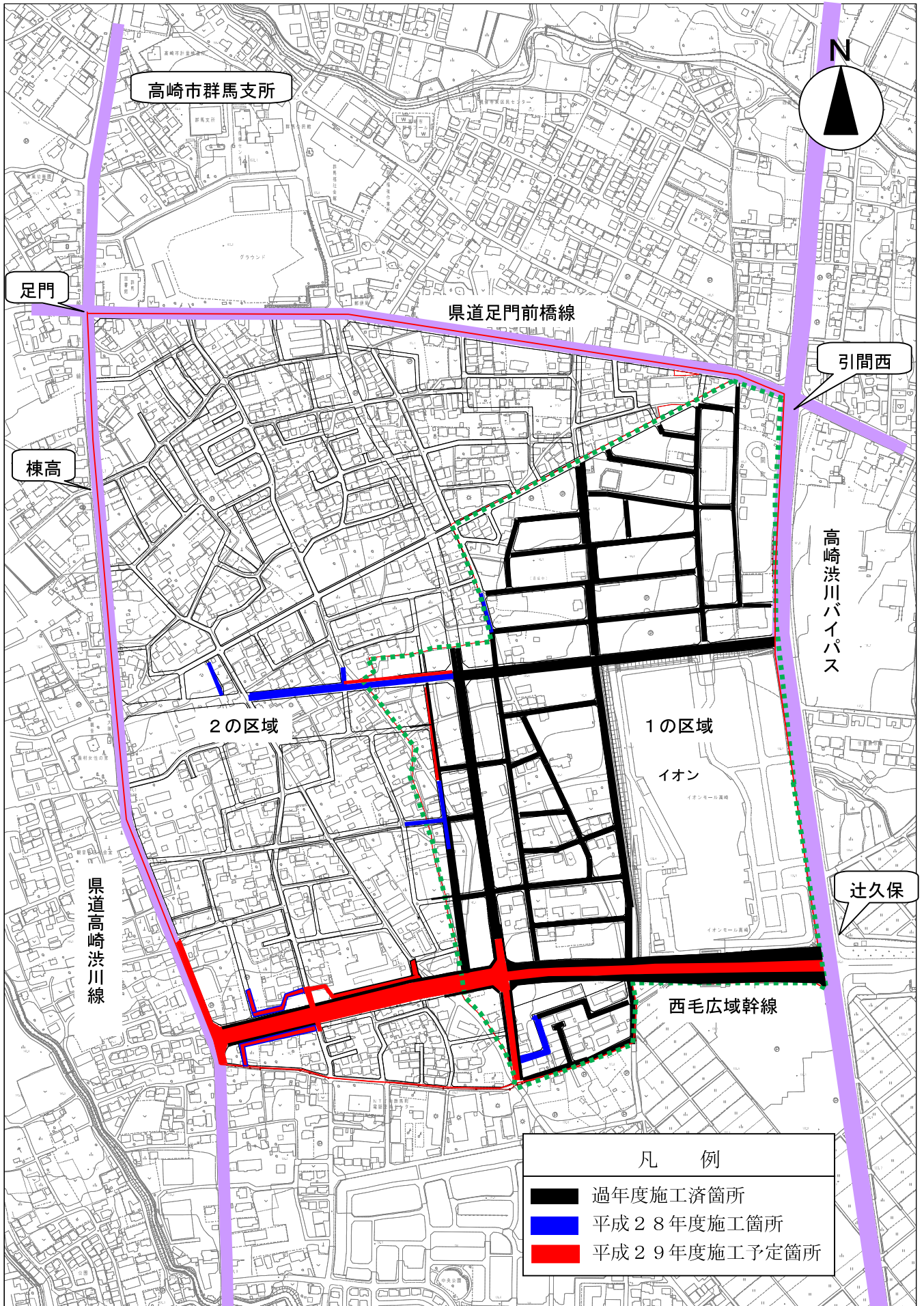
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績
合計	318,112	514,068	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	133,868	262,897	
県	—	—	
地方債	108,300	144,200	
その他	—	—	
一般	75,944	106,971	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定
合計	365,646	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	155,750	
県	—	
地方債	83,500	
その他	—	
一般	126,396	

平成29年度 中央第二土地区画整理事業 位置図



凡 例	
	過年度施工済箇所
	平成28年度施工箇所
	平成29年度施工予定箇所

- ① 都市計画道路
中央幹線
(西毛広域幹線)



〔 撮影方向 〕
西から東

- ② 都市計画道路
棟高観音寺線



〔 撮影方向 〕
北から南

- ③ 都市計画道路
引間観音寺線



〔 撮影方向 〕
西から東

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	菅谷高畑土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～平成37年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	菅谷高畑区画整理地区		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
合理的な土地利用と公共施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】 21.89ha 【総事業費】 4,470 百万円 【事業概要】 都市計画道路 1,486m、区画道路 4,958m、特殊道路 116m、水路 79m、公園 6,825 m ² 、上水道 7,856m、物件移転 101 戸 H28 末進捗率 81.9%	

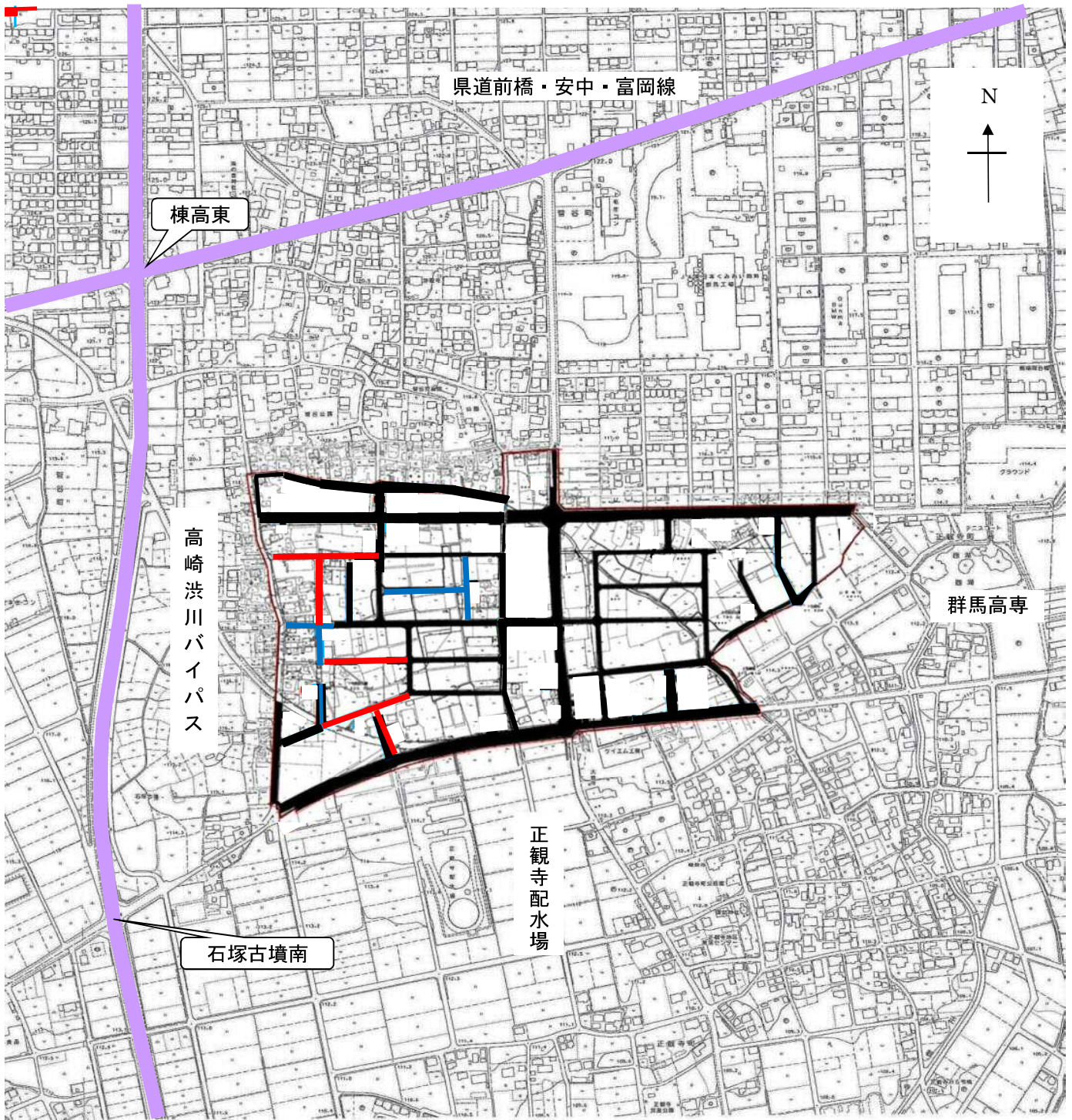
【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績
合計	145,400	142,873	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	55,000	55,000	
県			
地方債			
その他			
一般	90,400	87,873	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定
合計	135,600	・道路築造工事外 ・建物移転補償物件外
国	49,500	
県		
地方債		
その他		
一般	86,100	

菅谷高畑土地区画整理事業 位置図



凡 例	
●●● (Black)	過年度施工済箇所
●●● (Blue)	平成28年度施工箇所
●●● (Red)	平成29年度施工予定箇所

高崎市 菅谷高畑地区(組合施行)

写真No. 1



撮影内容

3街区

A氏移転補償
木造2階建専用住宅
曳家工法

物件南東方向から望む

写真No. 2



撮影内容

区画道路12号線

道路築造工事

南方向から望む

写真No. 3



撮影内容

区画道路11号線

道路築造工事

東方向から望む

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	群馬地域のお祭りについて	所属 (支所)	群馬支所地域振興課
実施期間	平成29年度	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	区域内の施設や公園などを活用して祭りを開催することにより、区域内住民の交流を図るとともに、地域活性化を図る。	区域内の施設や公園などの利用。住民参加型による祭りの開催。年齢層を幅広く参加できる祭りの開催。	ぐんま「はにわの里」夏まつり (群馬支所産業課) かみつけの里古墳まつり (かみつけの里博物館) 上野国分寺まつり (群馬支所地域振興課)

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績	
合計			ぐんま「はにわの里」夏まつり	H28.8.21(日) 事業費合計 11,000,000 円
国				
県			かみつけの里古墳祭り	H28.10.16(日) 市補助金 1,700,000 円
地方債				
その他			上野国分寺まつり	H28.10.23(日) 市補助金 550,000 円 事業費合計 2,403,000 円
一般				

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定		
合計		ぐんま「はにわの里」夏まつり	H29.8.20(日)	事業費合計 11,000,000 円
国				
県		かみつけの里古墳祭り	H29.10.15(日)	市補助金 1,700,000 円
地方債				
その他		上野国分寺まつり	H29.10.22(日)	市補助金 1,000,000 円 事業費合計 2,830,000 円
一般				

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	ぐんま青空マルシェ事業	所属 (支所)	群馬支所産業課
実施期間	平成27年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対象	群馬地域		
実施目的	具体的手段	その他	
群馬地域の賑わいを創出し、出店者と消費者のふれあいの場をつくる。	農商工業関係団体による実行委員会を組織し、旬の農産物や加工品・飲食物を販売する『市』を開催する。	【実施日】 年5回開催(4/30、7/22、10/29、12/17、2/18) 【場所】 群馬支所特設会場 【出店者】 市内生産者・経営者 約30店舗/回	

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績	
合計	1,000,000	1,000,000	年間10回開催	
国			・4月3日(日)出店数31	・10月2日(日)出店数21
県			・5月1日(日)出店数25	・11月6日(日)出店数26
地方債			・6月5日(日)出店数18	・12月4日(日)出店数29
その他			・7月3日(日)出店数24	・2月5日(日)出店数26
一般	1,000,000	1,000,000	・9月4日(日)出店数19	・3月5日(日)出店数28

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定	
合計	1,000,000	4月、7月、10月、12月、2月の年間5回開催	
国			
県			
地方債			
その他			
一般	1,000,000		

群馬地域に関わる事業報告書

平成29年3月31日現在

事業名	群馬分署移転事業	所属 (支所)	消防局総務課
実施期間	平成28年度～	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	分署の老朽化、及び立地条件の改善を図る。	適地に分署を建設し、移転する。	【移転先住所】 高崎市金古町863番地1 (旧前橋地方法務局群馬出張所跡地)

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算 見込額	28年度事業実績
合計		5, 639	<ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会の開催(平成28年8月10日実施) ・移転予定地の(1/3)榛東村所有分を、高崎市が取得(平成28年9月) ・予算措置(地質調査委託・庁舎設計委託) (平成28年12月19日消防組合議会) ・建設予定地へ看板の設置、除草管理
国			
県			
地方債		2, 100	
その他			
一般		3, 539	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	29年度事業予定
合計	265, 000	<ul style="list-style-type: none"> ・建設予定地の除草管理 ・庁舎設計委託 (28年度から引き続き設計を委託、5月中に完了予定) ・庁舎建設工事 (7月から建設開始予定) ・情報及び通信機器等移設工事 (30年2月頃) <p>※30年度当初に運用開始予定</p>
国		
県		
地方債	190, 400	
その他		
一般	74, 600	

群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

群馬支所 地域振興課

□ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>●群馬分署移転事業について</p>	<p>平成 30 年 4 月から群馬分署が金古地区に移転するにあたり、堤ヶ岡地区・桜山地区が高崎北消防署の管轄エリアになると聞いている。高崎市で出場稼働率が一番の北消防署に、人口が年々増加している地区が加わることに不安があるが、何か対策を考えていただけるのか。</p> <p>昨年度から高崎市等広域消防局の「たかさき消防共同指令センター」で県北西部全ての指令業務を処理する効率化が図られているが、群馬地域においても住民が安心できる対応をお願いしたい。</p> <p>また、群馬分署の移転について、市民に対してどのように周知していくのか教えていただきたい。</p>	
<p>●放課後子ども総合プランについて</p>	<p>平成 26 年 7 月に文部科学省と厚生労働省が共同策定した『放課後子ども総合プラン』に基づき、安全で安心な子どもの居場所づくりをお願いしたい。</p> <p>現在、放課後に学校で学力アップ推進の学習会が実施されているが、勉強に限らずまた親の就労の有無に関わらず、子ども達に校庭や図書館などを開放し、安全に遊んだり、友人と交流できるような場所を作っていただきたい。</p> <p>桜山小学校区は群馬地域の小学校区で唯一、スタッフが常駐して放課後子どもに解放されている公民館や児童館がないので、桜山小学校の近く(低学年の児童が徒歩で行ける距離)に市の職員がいる公民館の建設を要望します。</p>	

□群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>●太陽光発電の設置について</p>	<p>近年太陽光発電が各所で多く設置されているが、設置する周りの住民への説明や環境への規制や配慮はどのようになっているのか。</p> <p>また近年、太陽光発電設置による様々な問題が騒がれているが、今後設置に対する規制等が行われるのかお聞きしたい。</p> <p>なかでも事前協議の対象とならない2000㎡以下の小規模な太陽光発電の設置について、なんらかの規制等を行っていくのか教えていただきたい。</p>	
<p>●ごみの出し方について</p>	<p>菅谷地区では家庭ごみの出し方について問題を抱えている。決められたルールを守らず、指定日以外にごみを出したり、分別していないため業者に回収されず放置されたごみが周囲に散乱し、近所の住民が迷惑している。</p> <p>菅谷地区はここ数年人口が増加しており、回覧板や隣保班長の呼びかけだけではルール遵守の徹底が追いついていない状況である。</p> <p>高崎市内で、ごみの出し方について地域住民がルールを守り、気持ちよく生活が出来るよう工夫をして成功した事例等があれば、その具体例を教えていただきたい。</p> <p>また、高崎市として、年度初めに配られるごみルールの冊子以外に、何かごみルール徹底のための対策があれば教えていただきたい。</p>	

平成29年度第1回群馬地域振興協議会におけるまちづくりに関する意見一覧

■群馬地域のまちづくりに関する意見〔平成29年6月23日開催〕

内容区分	No.	意見	回答
群馬分署移転事業について	1	<p>平成30年4月から群馬分署が金古地区に移転するにあたり、堤ヶ岡地区・桜山地区が高崎北消防署の管轄エリアになると聞いている。高崎市で出場稼働率が一番の北消防署に、人口が年々増加している地区が加わることに不安があるが、何か対策を考えていただけるのか。</p> <p>昨年度から高崎市等広域消防局の「たかさき消防共同指令センター」で県北西部全ての指令業務を処理する効率化が図られているが、群馬地域においても住民が安心できる対応をお願いしたい。</p> <p>また、群馬分署の移転について、市民に対してどのように周知していくのか教えていただきたい。</p>	<p>群馬分署は、昨年度から移転事業を開始し、7月から庁舎建設工事に入り、30年度当初に運用開始の予定です。足門町から金古町へ移転となりますが、管轄区域の変更はありません。</p> <p>また、現在は「たかさき消防共同指令センター」の運用により、高機能消防指令システムが整備され、119番通報から出動部隊が現場に到着する時間など、大幅に短縮や効率化が図られています。特に救急出動については、消防局で運用する全ての救急車にGPS装置を装備し、管轄区域にかかわらず災害現場に最も近い救急車を出動させる「直近指令システム」を採用することにより、全ての救急車を消防局全域で効率的に運用しています。</p> <p>さらに高崎北消防署を含め市内3署には、救急車を2台ずつ配備しており、増加する救急需要にも対応しています。群馬分署は移転により既存施設の場所より少し北部へ移動することとなりますが、引き続き、総合力で群馬地域の安心安全を確保してまいりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>移転に伴う周知については、事前に住民説明会を実施させていただいており、工事開始前には、近隣住民及び区長へごあいさつと説明をさせていただきます。さらに、広報たかさきや回覧版、消防局ホームページ等にも掲載しお知らせしていく予定です。また、各地域で行われます自主防災訓練や講習会などでも分署職員から随時、お知らせをさせていただきます。</p>

■群馬地域のまちづくりに関する意見〔平成29年6月23日開催〕

内容区分	No.	意見	回答
放課後子ども総合プランについて	1	<p>平成26年7月に文部科学省と厚生労働省が共同策定した『放課後子ども総合プラン』に基づき、安全で安心な子どもの居場所づくりをお願いしたい。</p> <p>現在、放課後に学校で学力アップ推進の学習会が実施されているが、勉強に限らずまた親の就労の有無に関わらず、子ども達に校庭や図書館などを開放し、安全に遊んだり、友人と交流できるような場所を作っていただきたい。</p> <p>桜山小学校区は群馬地域の小学校区で唯一、スタッフが常駐して放課後子どもに解放されている公民館や児童館がないので、桜山小学校の近く（低学年の児童が徒歩で行ける距離）に市の職員がいる公民館の建設を要望します。</p>	<p>現在、各学校区の地域運営委員会による学力アップの学習会の実施が充実しております。この取組は、親の就労の有無にかかわらず子どもたちが参加でき、全国的にも珍しい取組といえます。また、この取組は、各地域運営委員会のお力によるところが大きく、ボランティアの方々の確保についても様々に努力をさせていただいております。</p> <p>校庭の開放につきましては、安全面の確保、図書館の開放につきましては、担当者の配置などの課題がありますが、今後とも地域運営委員会の方々とも協議していきたいと考えています。</p> <p>新たな公民館の建設については、地域の特性、人口、コスト、近隣施設の利用状況などの諸条件、またその必要性などについて、十分な研究を重ねていくことが重要と考えています。</p> <p>高崎市では、地域の交流の場として利用するために空き家を改修することに対して助成を行っています。</p> <p>この助成金を活用し、新しい建物をつくるのではなく、民家などの空き家を利用して、公民館をつくっていただけたらありがたいと思います。</p> <p>そして市の職員を配置するのではなく、地域の方のボランティア組織で運営していただくことを考えていただけたらと思います。</p>

■群馬地域のまちづくりに関する意見〔平成29年6月23日開催〕

内容区分	No.	意見	回答
太陽光発電の設置について	1	<p>近年太陽光発電が各所で多く設置されているが、設置する周りの住民への説明や環境への規制や配慮はどのようなになっているのか。</p> <p>また近年、太陽光発電設置による様々な問題が騒がれているが、今後設置に対する規制等が行われるのかお聞きしたい。</p> <p>なかでも事前協議の対象とならない2,000㎡以下の小規模な太陽光発電の設置について、なんらかの規制等を行っていくのか教えていただきたい。</p>	<p>開発指導課では、2,000㎡を超える太陽光発電設備の設置については、「高崎市宅地開発指導要綱」に基づく事前協議の対象としています。</p> <p>この事前協議では、造成や排水の計画内容や近隣住民への説明・周知等の実施など、事業者に対する確認や指導を行っています。</p> <p>また、関係する部署と連携し、音や光などの環境対策、土地の利用方法、工事における安全対策などを集約して、事業者に連絡、指導しています。</p> <p>2,000㎡以下の太陽光発電の設置については、現在、事前協議のような制度はありませんが、例えば、太陽光発電設備を設置するために、500㎡を超えて土砂を搬入する場合には、高崎市土砂等の堆積の規制に関する条例（通称「残土条例」）により、造成や排水の計画について確認、指導を行っています。</p> <p>設置する場所が農地の場合には、農地転用の許可等も必要となります。</p> <p>また、規模に関わらず太陽光発電設備に関する相談、苦情等につきましては、関係する部署間で情報を把握・共有しつつ、個別に対応、指導等を行っており、今後についても適正な指導を継続していきます。</p> <p>なお、高崎市では、特に景観等を保全する地区として、観音山地区、榛名湖周辺地区、箕郷梅林地区を特別保全地区に指定し、当該地区における太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー発電設備の設置を規制しています（「高崎市自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」）。</p>

■群馬地域のまちづくりに関する意見〔平成29年6月23日開催〕

内容区分	No.	意見	回答
ごみの出し方について	1	<p>菅谷地区では家庭ごみの出し方について問題を抱えている。決められたルールを守らず、指定日以外にごみを出したり、分別していないため業者に回収されず放置されたごみが周囲に散乱し、近所の住民が迷惑している。</p> <p>菅谷地区はここ数年人口が増加しており、回覧板や隣保班長の呼びかけだけではルール遵守の徹底が追いついていない状況である。</p> <p>高崎市内で、ごみの出し方について地域住民がルールを守り、気持ちよく生活が出来るよう工夫をして成功した事例等があれば、その具体例を教えてください。</p> <p>また、高崎市として、年度初めに配られるごみルールの冊子以外に、何かごみルール徹底のための対策があれば教えてください。</p>	<p>成功例としては、同じごみステーションを利用する区域の方々に班を編成して、持ち回りで掃除当番を行い、不適切な排出があった場合はノートに記録をして次へ回した。その結果不適切な排出方法が改善され、正しい排出方法が周知された事例がございます。</p> <p>ただ、これに至るには当初、地区の役員さんが相当なご苦勞をされたそうです。その地域は新興住宅街でしたので新たにお住まいになった方々のご理解やご協力がいただけなかったようですが、自分たちの地域の問題なのでどうにか自分たちで解決したいということから、粘り強く地域の方に実情を訴えていったところ、徐々に協力者が増えこのような持ち回りで清掃を行うシステムが構築されたそうです。</p> <p>また、高崎市では、平成27年度からごみステーション見守りカメラの設置事業を行っております。カメラの設置によりましてごみの不適正な排出や資源物の持去りなどを抑止することを目的としております。役員さんからはカメラの設置により不適正な排出が改善されたといった声も届いております。まずは地域で改善に努めていただくとともに、カメラの設置についてもご検討していただければと思います。</p> <p>ごみ出しルールの徹底対策ですが、まずはごみかわら版によるごみ出しルールの周知が、一番のルール徹底対策と考えております。</p> <p>また、ごみかわら版以外のごみ出しルールの周知策として、広報高崎や市ホームページ、高崎市環境保健協議会だよりなどにごみの出し方5原則などを掲載して徹底を呼びかけております。これらに加え、新たな周知策として昨年9月よりスマートフォン向けの「資源・ごみ分別アプリ」の配信も始めました。このアプリを使えば、正しいごみ出しのルールやお住まいの地域のごみ収集日などが、いつでもどこでも手軽に調べられますので、このアプリの利用を更に促して行きたいと考えております。</p>

平成29年度
(2017年度)

当初予算の概要

◇ 予算規模	1
◇ 一般会計予算の概要	2
1. 歳入	
2. 歳出(目的別)	
3. 歳出(性質別)	
4. その他の資料	
◇ 【平成29年度予算の主要事業】	7

高崎市

予 算 規 模

- ・ 一般会計 **1,683億1,000万円**（前年度1,628億4,000万円、54億7,000万円の増）
- ・ 特別会計 **825億7,055万円**（前年度815億1,332万円、10億5,723万円の増）
- ・ 水道事業会計 **104億8,581万円**（前年度101億2,509万円、3億6,072万円の増）
- ・ 公共下水道事業会計 **143億673万円**（前年度144億9,138万円、1億8,465万円の減）
- ・ 総予算 **2,756億7,309万円**（前年度2,689億6,978万円、67億331万円の増）

<各会計別予算>

会 計 別	平成 2 9 年度予算額	平成 2 8 年度予算額	伸び率
一 般 会 計	1,683 億 1,000 万円	1,628 億 4,000 万円	3.4
特 別 会 計	825 億 7,055 万円	815 億 1,332 万円	1.3
国民健康保険事業特別会計	441 億 1,795 万円	442 億 4,092 万円	△ 0.3
介護保険特別会計	326 億 2,061 万円	315 億 1,717 万円	3.5
牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 2,163 万円	1 億 2,092 万円	0.6
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	7,372 万円	6,184 万円	19.2
後期高齢者医療特別会計	42 億 3,887 万円	40 億 8,063 万円	3.9
簡易水道事業特別会計	1 億 2,744 万円	1 億 2,059 万円	5.7
農業集落排水事業特別会計	1 億 6,293 万円	1 億 6,139 万円	0.9
駐車場事業特別会計	2 億 8,913 万円	3 億 8,279 万円	△ 24.5
土地取得事業特別会計	8 億 1,828 万円	8 億 2,705 万円	△ 1.1
小 計	2,508 億 8,055 万円	2,443 億 5,332 万円	2.7
水道事業会計	104 億 8,581 万円	101 億 2,509 万円	3.6
公共下水道事業会計	143 億 673 万円	144 億 9,138 万円	△ 1.3
合 計	2,756 億 7,309 万円	2,689 億 6,978 万円	2.5

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は3.4%の増

- ・ 高崎アリーナ等建設事業(△61.8億円)、小中学校体育館建設事業(△5.1億円)などによる減額
- ・ 高崎文化芸術センター(仮称)建設事業(+117.8億円)、高崎駅ペDESTリアンデッキ整備事業(+9.7億円)、浜川運動公園拡張整備事業(+7.9億円)、高南中学校校舎建設事業(+5.2億円)などによる増額

特別会計は1.3%の増

介護保険特別会計における高齢者あんしんセンターの拡充等による事業費の増額、後期高齢者医療特別会計における保険給付費の増加による負担金の増額

一般会計予算の概要

1. 歳入

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度		平成28年度		増 減 額	伸び率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 市 税	59,097,439	35.1	58,227,837	35.8	869,602	1.5
2 地方譲与税	1,190,001	0.7	1,150,001	0.7	40,000	3.5
3 利子割交付金	39,000	0.0	82,000	0.0	△ 43,000	△ 52.4
4 配当割交付金	200,000	0.1	180,000	0.1	20,000	11.1
5 株式等譲渡所得割交付金	200,000	0.1	100,000	0.1	100,000	100.0
6 地方消費税交付金	6,400,000	3.8	7,200,000	4.4	△ 800,000	△ 11.1
7 ゴルフ場利用税交付金	130,000	0.1	130,000	0.1	—	—
8 自動車取得税交付金	220,000	0.1	180,000	0.1	40,000	22.2
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	33,675	0.0	40,155	0.0	△ 6,480	△ 16.1
10 地方特例交付金	230,000	0.1	210,000	0.1	20,000	9.5
11 地方交付税	13,300,000	7.9	14,200,000	8.7	△ 900,000	△ 6.3
うち普通交付税	11,500,000	6.8	12,400,000	7.6	△ 900,000	△ 7.3
12 交通安全対策特別交付金	95,000	0.1	85,000	0.0	10,000	11.8
13 分担金及び負担金	900,590	0.5	1,031,796	0.6	△ 131,206	△ 12.7
14 材料及び手数料	3,093,099	1.9	3,153,240	1.9	△ 60,141	△ 1.9
15 国庫支出金	24,694,687	14.7	19,975,916	12.3	4,718,771	23.6
16 県支出金	9,165,910	5.5	9,052,404	5.6	113,506	1.3
17 財産収入	281,624	0.2	280,235	0.2	1,389	0.5
18 寄附金	120,005	0.1	120,006	0.1	△ 1	△ 0.0
19 繰入金	6,115,588	3.6	5,302,280	3.3	813,308	15.3
うち財政調整基金繰入金	3,900,000	2.3	3,300,000	2.0	600,000	18.2
20 繰越金	1	0.0	1	0.0	—	—
21 諸収入	25,455,181	15.1	28,104,129	17.3	△ 2,648,948	△ 9.4
22 市 債	17,348,200	10.3	14,035,000	8.6	3,313,200	23.6
うち臨時財政対策債	5,100,000	3.0	4,530,000	2.8	570,000	12.6
合 計	168,310,000	100.0	162,840,000	100.0	5,470,000	3.4

- ◆ 市税収入は、590億9,743万円を計上しました。個人市民税は、労働人口の伸びにより微増を見込み、前年度対比0.8%増の205億8,500万円、法人市民税は、景気の緩やかな回復基調が続いているため、前年度対比10.6%増の56億6,882万円、固定資産税は、新增築家屋の増加を見込み、前年度対比0.5%増の242億3,911万円を見込みました。
- ◆ 地方消費税交付金は、国が示す地方財政計画を考慮し、前年度対比11.1%減の64億円を見込みました。
- ◆ 普通交付税は、合併算定替の縮減及び国が示す地方財政計画を考慮し、前年度対比7.3%減の115億円を見込みました。
- ◆ 基金繰入は、財政調整基金から39億円(前年度33億円)、減債基金から7億円(前年度7億円)のほか、地域振興基金から5.1億円(前年度5.3億円)、都市集客施設等建設基金から6億円(前年度3億円)等を見込みました。
- ◆ 市債は、高崎文化芸術センター(仮称)建設と浜川運動公園拡張整備及び高南中学校校舎建設などにより建設事業債が増加するほか、臨時財政対策債は国が示す地方財政計画を考慮し増加を見込み、前年度対比23.6%増の173億4,820万円としました。

2. 歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度		平成28年度		増 減 額	伸 び 率
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比		
1 議会費	705,530	0.4	699,271	0.4	6,259	0.9
2 総務費	14,096,858	8.4	13,057,852	8.0	1,039,006	8.0
3 民生費	52,473,358	31.2	51,078,624	31.4	1,394,734	2.7
4 衛生費	8,701,441	5.2	8,723,989	5.4	△ 22,548	△ 0.3
5 労働費	164,084	0.1	177,552	0.1	△ 13,468	△ 7.6
6 農林水産業費	2,606,668	1.5	2,640,056	1.6	△ 33,388	△ 1.3
7 商工費	23,974,292	14.2	26,888,725	16.5	△ 2,914,433	△ 10.8
8 土木費	32,701,173	19.4	26,074,800	16.0	6,626,373	25.4
9 消防費	4,320,251	2.6	4,371,152	2.7	△ 50,901	△ 1.2
10 教育費	15,123,184	9.0	15,993,477	9.8	△ 870,293	△ 5.4
11 災害復旧費	5	0.0	5	0.0	—	—
12 公債費	13,143,156	7.8	12,834,497	7.9	308,659	2.4
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	—	—
合 計	168,310,000	100.0	162,840,000	100.0	5,470,000	3.4

- ◆ 総務費は、参議院選挙の終了や定年退職者が減少する一方で、くらぶち英語村(仮称)の整備事業やスポーツ関係予算を教育費から移行したことにより、前年度対比10億3,900万円、8.0%の増額となっています。
- ◆ 民生費は、生活保護扶助費、障害者自立支援給付費の増加や、保育所等緊急整備事業補助の増額、多機能型住居内のシルバーセンター田町や子育てなんでもセンターの開設などにより、前年度対比13億9,473万円、2.7%の増額となっています。
- ◆ 商工費は、高崎駅前の高崎オーパ(仮称)内での高崎産の物産販売や県外での高崎ブランドのPRへの支援が増額となる一方で、金融事業やビジネス立地奨励金の見込みが減ることから、前年度対比29億1,443万円、10.8%の減額となっています。
- ◆ 土木費は、高崎アリーナや立体駐車場建設が終了する一方で、高崎文化芸術センター(仮称)建設や高崎駅周辺ペDESTリアンデッキ整備の本格化や、浜川運動公園周辺の拡張整備などにより、前年度対比66億2,637万円、25.4%の増額となっています。
- ◆ 教育費は、高南中学校校舎建設や英語指導の充実などが増額となる一方、学校体育館の建替終了やスポーツ関係予算の総務費への移行などにより、前年度対比8億7,029万円、5.4%の減額となっています。
- ◆ 公債費は、平成26年度借入の臨時財政対策債の元金償還の開始などにより、前年度対比3億866万円、2.4%の増額となっています。

3. 歳出(性質別)

- ・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費… 6 6 4 億 3, 6 9 9 万円、前年度対比 1. 0 % の増
- ・ 建設事業などの投資的経費… 2 9 0 億 9, 4 2 3 万円、前年度対比 3 3. 8 % の増

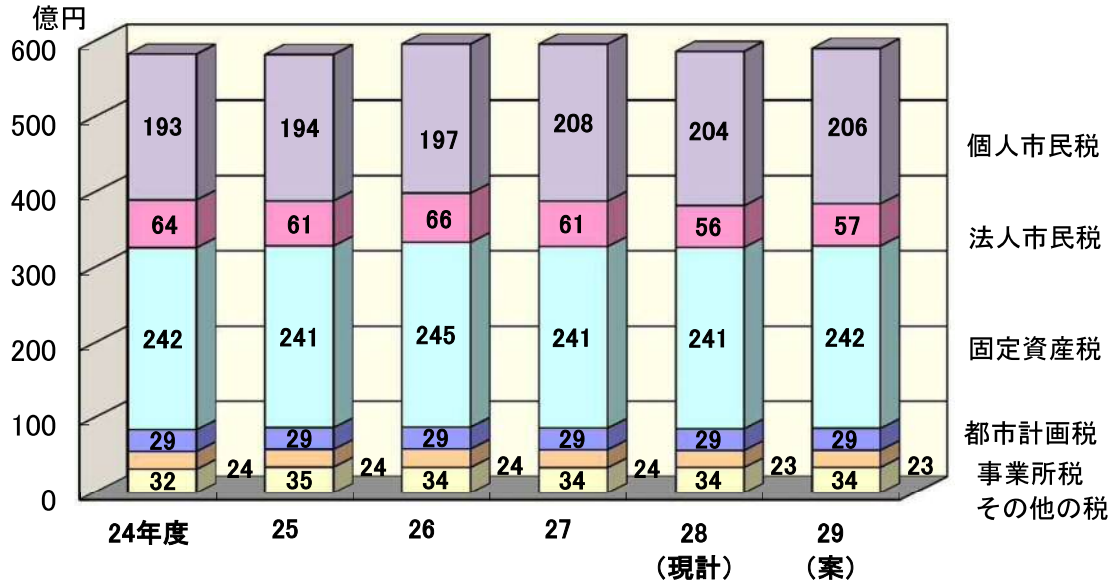
(単位：千円、%)

区 分	平成 2 9 年度		平成 2 8 年度		増 減 額	伸び率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
(1)義務的経費	66,436,991	39.5	65,803,764	40.4	633,227	1.0
①人件費	21,122,215	12.6	21,636,426	13.3	△ 514,211	△ 2.4
②扶助費	32,171,620	19.1	31,332,841	19.2	838,779	2.7
③公債費	13,143,156	7.8	12,834,497	7.9	308,659	2.4
(2)投資的経費	29,094,231	17.3	21,748,614	13.3	7,345,617	33.8
①普通建設事業	29,094,226	17.3	21,748,609	13.3	7,345,617	33.8
補助事業	20,392,416	12.1	8,800,505	5.4	11,591,911	131.7
単独事業	8,232,924	4.9	12,456,360	7.6	△ 4,223,436	△ 33.9
国直轄事業負担金	28,644	0.0	13,600	0.0	15,044	110.6
県営事業負担金	440,242	0.3	478,144	0.3	△ 37,902	△ 7.9
②災害復旧事業	5	0.0	5	0.0	—	—
(3)その他経費	72,778,778	43.2	75,287,622	46.3	△ 2,508,844	△ 3.3
①物件費	19,213,736	11.4	18,693,673	11.5	520,063	2.8
②補助費等	19,700,676	11.7	20,396,587	12.5	△ 695,911	△ 3.4
③貸付金	22,103,826	13.1	24,530,251	15.1	△ 2,426,425	△ 9.9
④繰出金	9,316,685	5.5	9,236,231	5.7	80,454	0.9
⑤その他	2,443,855	1.5	2,430,880	1.5	12,975	0.5
合 計	168,310,000	100.0	162,840,000	100.0	5,470,000	3.4

- ◆ 人件費は、英語指導助手に係る報酬などが増加する一方、定年退職者の退職手当の減額や選挙に係る経費の減少などにより、前年度対比5億1,421万円の減額となっています。
- ◆ 扶助費は、障害者自立支援給付費や生活保護扶助費の増加などにより、前年度対比8億3,878万円、2.7%の増額となっています。
- ◆ 普通建設事業は、高崎アリーナや立体駐車場の建設工事が終了する一方、高崎文化芸術センター(仮称)の建設が本格化することなどにより、前年度対比73億4,562万円、33.8%の増額となっています。
- ◆ 補助費等は、ビジネス立地奨励金などの減少により、前年度対比6億9,591万円、3.4%の減額となっています。
- ◆ 繰出金は、介護保険特別会計における高齢者あんしんセンターの拡充などにより、前年度対比8,045万円、0.9%の増額となっています。

4. その他の資料

(1) 地方税の推移(見込み)

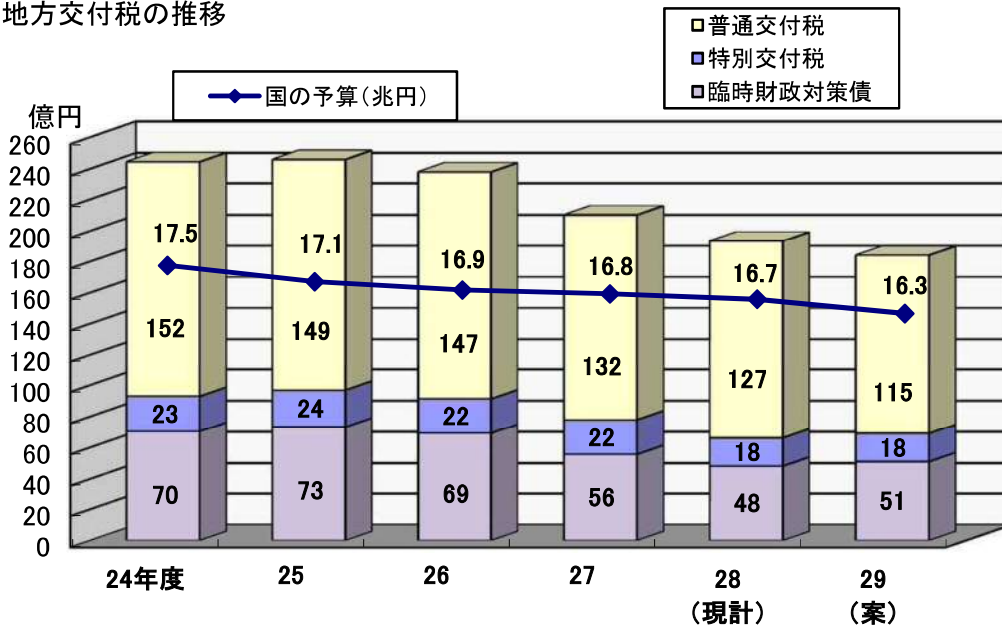


※24年度から27年度までは決算ベースで算出

※28年度は現計予算ベースで算出

※29年度は予算(案)

(2) 地方交付税の推移

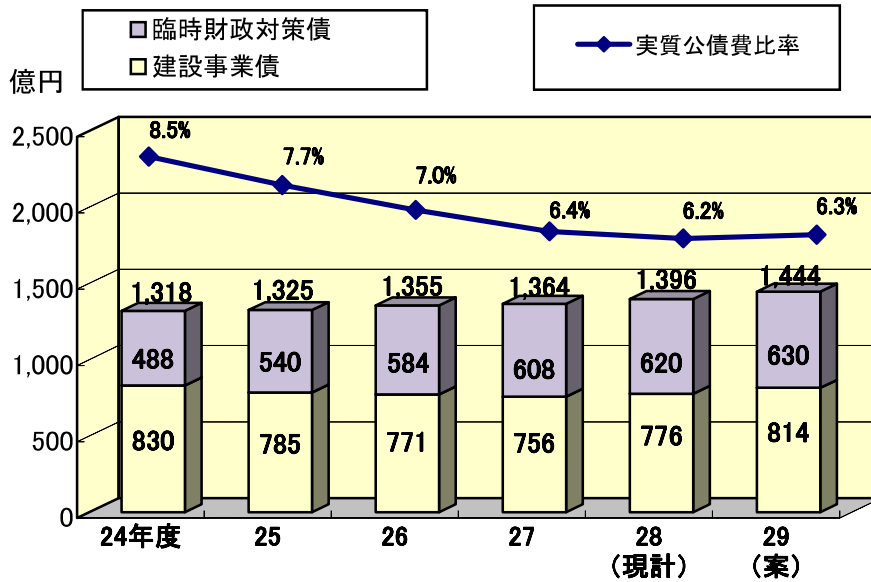


※24年度から27年度までは決算ベースで算出

※28年度は現計予算ベースで算出

※29年度は予算(案)

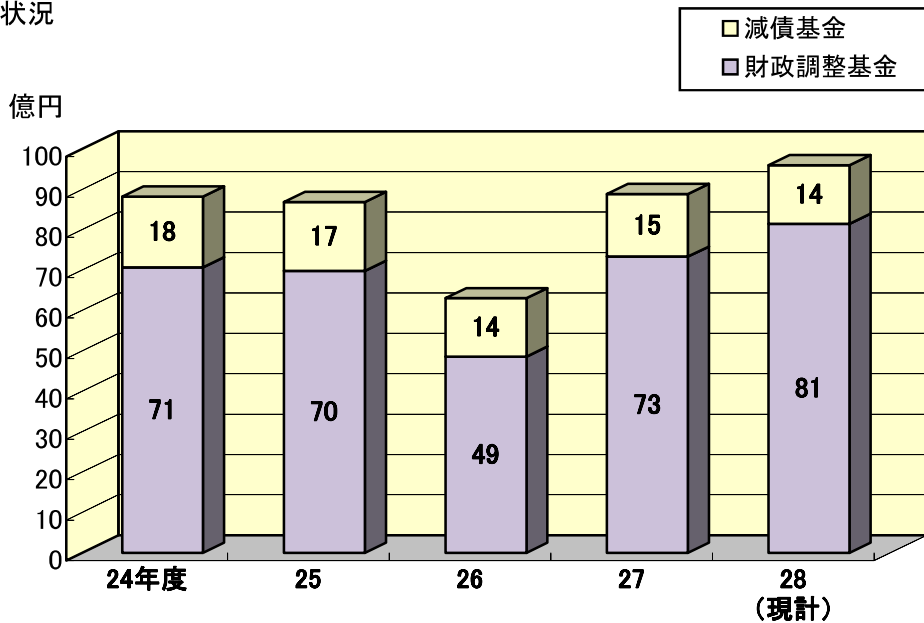
(3) 実質公債費比率と市債現在高(見込み)[普通会計]



※24年度から27年度までは決算ベースで算出

※28年度は現計予算ベースで算出
 ※29年度は予算(案)での推計値

(4) 基金の状況



※24年度から27年度までは決算ベースで算出 ※28年度は現計予算ベースで算出

※26年度に基金が減少しているのは、大雪災害への対応によるものです。

【平成29年度予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事業概要	予算額
(1) 英語教育の強化 平成29年度より市内の全小中学校にALT(外国語指導助手)を配置し、英語教育の学力向上を図る。	千円 348,824
(2) スクールソーシャルワーカーの拡充	13,744
(3) 学校施設の維持補修や校舎等の整備 老朽化した校舎等を改築し、児童・生徒の安全を確保し、教育環境を改善する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設の維持補修工事 441,700千円 ・ 箕輪小学校校舎建設 229,174千円 ・ 高南中学校校舎建設 1,268,251千円 	1,939,125
* 28年度に完成した学校施設 屋内運動場(中室田小学校、並榎中学校)、新町中学校プール	
(4) 林間学校榛名湖荘の開校 市内小学校の児童を対象に、新潟県笠島で実施していた臨海学校に替わり、平成29年度より榛名湖畔で林間学校を実施する。	92,077
(5) 創立60周年を迎える高崎経済大学の運営支援 平成29年4月より、新たに国際学科を開設する高崎経済大学の運営を支援する。	350,000

《産業の振興》

事業概要	予算額
(1) 高崎のブランド力向上を戦略的に推進	千円 48,000
(2) 農業の振興(地産多消の推進) <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者新規創造活動事業補助金 150,000千円 新品種・新商品の開発、市内産農畜産物「高崎そだち」の普及宣伝活動および6次産業化、商工業者との連携など、農業分野で挑戦する市民を総合的に支援する。 	150,000
(3) 地元企業への支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業経営安定化助成 840,000千円 経営状況に応じた事業所税の納付額に対する助成 ・ まちなか商店リニューアル助成 300,000千円 市内の商店の魅力高め、集客力の向上を図るため、店舗のリニューアル費用の一部を助成する。 ・ 住環境改善助成 100,000千円 居住環境の改善と市民生活の向上を図るため住宅の改修、修繕、模様替え等の工事費の一部を助成する。 	1,240,000

事業概要	予算額
(4) ビジネス誘致の推進 市内への企業誘致の促進や、市内企業の定着を推進するため、各種奨励金を交付する。 ・ビジネス立地奨励金 145,221千円 ・産業立地振興奨励金 240,424千円	千円 385,645
(5) 都内のイベント会場で高崎シティプロモーションを開催	30,000
(6) スマートIC周辺整備事業 産業集積拠点として良好な新市街地の形成を推進するため、高崎スマートIC周辺の井野川橋りょうや通学路の歩道を整備し、河川による地域分断の解消と歩行者の安全対策等を図る。	274,372

《文化・スポーツの振興と歴史を活かした創造的な高崎》

事業概要	予算額
(1) 文化事業の拡充 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、まちの賑わいを創出する。 ・高崎音楽祭開催補助金 29,000千円 ・前橋・高崎演劇フェスティバル開催負担金 7,620千円 ・その他各種開催補助金等 186,454千円	千円 223,074
(2) スポーツの振興 ・浜川運動公園の拡張整備 1,951,629千円 ソフトボール場、テニスコート場、サッカー・ラグビー場を整備し、災害時には避難地や復興の拠点として活用する。 ・企業スポーツ等の支援 75,000千円 本市を本拠地とし、本市のスポーツ振興やPRに寄与する活動を行うスポーツチームを有する企業等に対して支援を行う。 ・国際スポーツイベント等開催支援 98,000千円 国際的なスポーツイベントの開催を支援する。	2,124,629
(3) 歴史を活かしたまちづくり ・上野三碑の世界記憶遺産への登録を推進 14,551千円 ・榛名神社保存修理事業補助 10,000千円 榛名神社の本殿など国の重要文化財建造物の修復事業に対して補助する。 ・史跡の保存整備および調査 日高遺跡 20,039千円 JR上越線南側の排水設備工事を行う。 箕輪城跡 53,289千円 本丸土塁の復元工事を行う。 北谷遺跡 95,105千円 史跡地（国指定史跡）の公有地化を行う。 多胡碑周辺遺跡 10,834千円 発掘調査及び正倉院部分の総括報告書を作成する。 上野国分尼寺跡 6,003千円 国府地区に推定される上野国分尼寺の遺構確認を目的とした発掘調査を行う。	209,821

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事業概要	予算額
(1) 多機能型住居の開設 ・シルバーセンター田町の運営（1階） 70,344千円 ・子育てなんでもセンターの運営（2階） 93,472千円 子育ての相談や支援の拠点施設 ・住宅の運営（7～10階） 120,253千円 介護士・保育士・看護師の確保のための住宅	千円 284,069
(2) 子育て関連支援事業 ・待機児童ゼロを継続するため、保育所の整備と保育士確保のための人件費補助を実施 496,583千円 保育所緊急整備補助、保育所入所待機解消支援事業 ・病児・病後児保育や一時預かり保育の支援の拡充 197,512千円 ・気になる子対策補助金 57,860千円 保育において支援を必要とする「気になる子」への対応として、保育環境の充実を図る。 ・こども発達支援センター機能の充実 109,964千円 ・放課後児童クラブの増設 659,445千円	1,521,364
(3) 福祉の充実 ・高齢者あんしんセンターの拡充 511,000千円 ・地域の居場所活動支援 6,720千円 高齢者が身近な地域で集まることができる場所（居場所）の確保及び活動を支援する。 ・介護SOSサービス事業 66,000千円 介護者の急用時に市内どこでもヘルパーが即時に対応し、24時間365日体制で介護者の負担軽減や介護離職の防止を図る。 ・高齢者等あんしん見守りシステムの拡充 270,445千円 ひとり暮らし高齢者等宅への緊急通報装置及び安否確認センサーを備えたあんしん見守りシステムを引き続き設置する。 また「はいかい高齢者救援システム」で、徘徊する高齢者へのGPS機器貸与から捜索・保護活動までを包括的に行う。	854,165
(4) 救急医療体制の充実 ・脳卒中患者受入体制強化補助 48,000千円 ・救急患者受入促進補助金 87,000千円 救急搬送患者を受入れた救急告示医療機関に対し、受入実績に基づき補助金を交付する。	135,000
(5) 小児救急医療体制の充実 市内における24時間365日の小児救急医療体制を整備する。 ・小児救急医確保業務委託 24,000千円 ・夜間小児救急医療体制整備等業務委託 15,000千円 群馬県小児救急医療支援事業（西毛小児輪番）による当番が市外の医療機関となる日において、市内でも夜間の小児救急診療を実施できる体制整備を委託する。	39,000
(6) 不妊・不育症治療費の助成	144,843
(7) 保健対策事業の拡充 ・B型肝炎個別予防接種事業 69,000千円 ・がん検診事業の拡充 413,920千円 ・高齢者の集団検診受診への支援 4,000千円	486,920

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事業概要	予算額
(1) くらぶち英語村（仮称）整備事業 旧川浦小学校の跡地に、小中学生が生きた英語に囲まれて山村留学できる施設を整備。運営に向けた準備を進める。	千円 373,925
(2) 榛名地域スポーツ振興事業 ・榛名山ヒルクライム in 高崎 31,000千円 ・榛名湖リゾート・トライアスロン in 群馬 3,500千円 ・榛名湖マラソン 5,000千円	39,500
(3) 新町駅のエレベーター設置に係る詳細設計	33,000
(4) 吉井中央公園（仮称）整備 吉井地区の中心市街地の住民が災害時等に速やかに避難できるよう、防災機能を備えた公園を整備する。 ・造成工事及び水道管布設工事負担金など	214,813
(5) 倉淵・榛名・吉井地域への移住者に対する支援	10,100
(6) 市内全域の道路の維持・補修工事	520,000

《安心・安全な地域社会づくり》

事業概要	予算額
(1) 防災対策事業の推進 ・建築物等の耐震化促進事業 99,254千円 ・防災情報放送システムの整備 62,000千円 防災無線が未整備の旧高崎地域の一部及び浸水想定区域が変更された新町地域において、インターネット回線を利用した情報放送システムを整備する。 ・自主防災組織への支援拡充 10,000千円 町内会を単位として組織する「自主防災組織」の結成時に、活動に必要な資機材の購入費補助の上限を増額する。また防災訓練に係る経費補助の上限も増額し、防災訓練の促進及び防災意識の向上につなげる。	千円 171,254
(2) 防犯対策の更なる推進 全市的な犯罪抑止とごみの適正排出を目的として、地域からの要望に応じ、防犯カメラとごみステーション見守りカメラを設置する。	92,809
(3) 交通安全対策 ・小学校周辺道路の安全対策 172,000千円 小学校周辺の通学路等に、通過する車両の速度抑制を促す路面段差やグリーンベルト、カーブミラーや標識などを設置し、児童や歩行者の安全を守る。 ・生活道路の穴凹補修に迅速に対応 100,000千円	272,000

事業概要	予算額
(4) 高浜クリーンセンターの建て替え 平成34年度の供用開始に向け、発注仕様書等を作成する。 16,349千円 【周辺施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・高浜長寿センター整備（建設工事等） 226,800千円 ・下里見運動広場（仮称）整備（整備工事等） 62,679千円 ＊高浜テニスコートの代替施設を含む ・中里見公園（仮称）整備（整備工事等） 65,440千円 ＊高浜ゲートボール場の代替施設を含む ・久留馬公民館（仮称）整備（設計等） 12,930千円 ・周辺道路整備（設計等） 9,300千円 	千円 393,498
(5) 里山再生・有害鳥獣対策 ぐんま緑の県民基金補助金を活用し、竹林・里山林の整備や 森林環境教育など、各種事業を実施する。	49,435

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事業概要	予算額
(1) 観光施策の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・高崎だるま市開催補助金 9,000千円 だるま市を元日、2日に開催し、「新年に日本で最初のだるま市」として全国に発信することで、中心市街地の活性化につなげる。 ・高崎の食発信事業 63,000千円 食博覧会大阪参加、ふるさと祭り東京参加等 ・首都圏でたかさきスイーツフェアを開催 15,000千円 	千円 87,000
(2) 高崎駅周辺の発展 <ul style="list-style-type: none"> ・高崎マルシェ等の支援 149,688千円 29年秋に開業予定の大型商業施設内において、高崎産の食や物産のPRのため販売を支援する。 ・高崎駅周辺ペDESTリアンデッキ整備 1,852,200千円 ・高崎駅西口駅前広場の再整備 166,000千円 ・高崎駅東口周辺市街地再開発整備 566,400千円 	2,734,288
(3) 高崎文化芸術センター（仮称）・高崎アリーナにおける国際大会等の誘致推進	66,000
(4) 都市集客施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・高崎文化芸術センター（仮称）建設事業 12,855,607千円 ・高崎アリーナシャトルバス運行事業 19,945千円 	12,875,552
(5) 公園施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・烏川かわまちづくり整備 54,995千円 ・観音山公園（カップピア跡地）整備・運営 170,570千円 	225,565
(6) 空き家緊急総合対策助成金 老朽化した空き家の解体費用やお年寄りが気軽に集まるサロン、また子育てママたちが気軽に情報交換するサロンなどとして活用する場合の改修費への助成。	100,000